



日本各地の方言を勉強したいと思います！

**皆** さん、こんにちは。橋立 中学校ALTのピーターです。今年日本に来てから2回目の夏を迎えましたが、去年よりも酷暑だったように思います。気温だけでいえば、母国であるアメリカの方が日本よりも高いこともあり、湿度が大きく上回っている場合が多いです。そのため、体感温度は日本の方がアメリカよりもかなり熱く、厳しく感じます。来年はもう少し涼しく過ごしやすい夏が来ることを願っています。

方、日本語の先生として多くの言葉を教えてくれます。個人的には標準語より関西弁や加悦谷弁のアクセントが好きでよく使っています。日本に関西弁、加悦谷弁などの方言があるように、英語にも多くの方言やなまりがあります。大きくイギリス英語とアメリカ英語に分けることができますが、それぞれの中にも無数の方言となまりがあります。

しかし、それらの方言となまりは住んでいる地域だけではなく出身や階級、収入に由来するという固定観念があるのが日本の方言・なまりとの大きな違いです。例えば、アメリカ南部のなまりは経済的困難、イギリス東ロンドンのなまり（コックニー）は労働者階級、故エリザベス女王やハリー・ポッターシリーズで使用されるクイーンズイングリッシュは、王室や南イングランドの教養ある人々が用いるなどという固定観念がまだ存在します。日本ではそれらの固定観念はなく、楽しく方言やなまりを学び、使用できるのでうれしく思います。

皆さんもおすすめの方言があったら教えてください。

がんばってます！消防団 編集●第2分団

# 地震 災害に対する備えは大丈夫ですか？

災害への備えとして最も重要なことは、「自分自身が安全」であることです。地震が発生したときに命が守られ、けがをしないように備えることが大切。大きな地震では、家が無事でも家具や家電が倒れ下敷きになることや、割れたガラスでけがをすることもあります。「地震が起きたらどうなるか？」といった視点で、住まいを一度見回りして必要な備えを「できることから」始めましょう。



机の下に避難する子ども（出典イラストAC）

**POINT!!** 非常持ち出しバック（防災グッズ、防災用品）の用意

**急** いで避難しなければならない災害時に、多くのものを持ち出す余裕はありません。そのような場合に備えて、日ごろから用意しておきましょう。



- 用意しておきたいもの
- 飲食品（飲料水、レトルト食品、缶詰、粉ミルクなど）
  - 日用品（救急箱、懐中電灯、衣類、ロープ、ラジオ、衛生用品など）
  - 貴重品（現金、通帳、判子など）

**POINT!!** 避難場所・経路の確認（ハザードマップの確認）

**ハ** ザードマップで、避難所や広域避難場所への経路を確認しましょう。また、被害想定による自分の住む地域の危険性も確認しておきましょう。なお、ハザードマップは、役場各庁舎にあるほか、町ホームページで見ることができます。



**「消防防災フェア」 in 加悦中学校 10/22 日 AM 9:45 ~ 11:30**

消防団では、与謝野町防災訓練に併せて「消防防災フェア」を開催。防災啓発ブースの展示や災害体験ができますので、ぜひご来場ください。



時の贈り物 [第128回 与謝野の氏神祭り⑤ 神社の伝承や氏神祭りと土地管理]



天満神社の「宮野」



深田神社の「深田」



倭文神社の「一本木」

**神** 社には固有の伝承を持つものがあります。由来や年代を示すものが多いようです。その多くは実証困難ですが、与謝野町内の神社伝承の中に気になるものはいくつかありますので、そのうちの3つを紹介します。

● **加悦区の天満神社**  
今は丘の上に鎮座しますが、元は「宮野」という宮津天橋奥川と野田川の合流する算所区との境にあったと言われます。しかし、ここは川の氾濫原で、神社があった可能性の低い無理な説です。

● **幾地区の深田神社**  
今は山裾に鎮座しますが、元は「深田」という宮津天橋高校加悦谷学舎の東側の三河内区との境にあったと言われ

● **三河内区の倭文神社**  
加悦谷の真ん中あたりの明石区との境界近くに「一本木」というものがあります。倭文神社の祭神と明石の須代神社の祭神の逢引（デート）場所の目印と言われるものです。

いずれも隣接地区との境界近くで、かつ地盤の軟弱な土地に位置しています。このことは、神社伝承や氏神祭りの行程の中に氏子圏の土地管理を組み込んだと想定することもできます。氏神祭りは、地域の団結を促すとともに、毎年、土地の境界を確認する役割も担っていたようです。（与謝野町教育委員会）